

令和二年度入学試験問題

小 論 文

令和二年二月二十五日

自 十二時〇〇分

至 十四時三十分

答案作成上の注意

- 一 この問題冊子の総ページは十五ページです。
- 二 解答用紙は一枚、下書き用紙は一枚です。
- 三 解答はすべて解答用紙の所定の場所に縦書きで記入しなさい。
- 四 受験番号は解答用紙の所定の箇所に必ず記入しなさい。
- 五 配付した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
- 七 この問題冊子の裏表紙には、試験時間中に机の上に置いてよいものを記載しています。

以下の六つの資料から読み取った内容をふまえて、自分の論旨にふさわしい題を解答用紙冒頭の所定欄に記入し、一二〇〇字以内で小論文を作成しなさい。その際、少なくとも三つの資料を取りあげ、言及した資料の番号をすべて解答用紙末尾の所定欄に記入すること。出題にあたっては、原典の一部を変更ないし省略したところがある。なお注は、一部を除き、すべて出題者による。

【資料一】

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

（戸田山和久『科学哲学の冒険 サイエンスの目的と方法をさぐる』NHK出版、二〇〇五年）

〔注一〕 熱力学上の概念であるが、現在では、情報理論などさまざまな分野で使われる。

〔注二〕 十六世紀から十七世紀にかけて活躍したイギリスの司法官、政治家、哲学者。科学的方法と経験論の先駆者とされる。

〔注三〕 中世ヨーロッパで、教会や修道院に付属している「学校」を中心として形成された神学や哲学などの学問の総称をスコラ学という。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

〔注〕 十九世紀後半に生まれ、二十世紀初頭に社会科学の領域において大きな業績を残したドイツの学者。
(大塚久雄『社会科学の方法』岩波書店、一九六六年)

【資料二】

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

(新井紀子『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』東洋経済新報社、二〇一八年)

〔注一〕 演繹とは、一定の前提から論理規則に基づいて必然的に結論を導き出すこと。

〔注二〕 現在ある大半の計算機(フイマン型)の概念を超えた新しい構造を持つ計算機。

〔注三〕 国立情報学研究所が中心となり二〇一一年に始まったプロジェクト「ロボットは東大に入れるか」において名付けられた人工知能のこと。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

(西岡常一・小川三夫・塩野米松『木のいのち木のころ(天・地・人)』新潮社、二〇〇五年)

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

〔注〕
鎌倉時代の禅僧。中国の南宋から曹洞禅そうとうぜんを伝えた日本曹洞宗の開祖。
（ひろさちや『道元 正法眼蔵くわからないことがわかるといふことが悟り』NHK出版、二〇一八年）

【資料六】

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

〔注〕
ものの見方。

〔堀尾輝久〕地球時代の教養と学力——学ぶとは、わかるとは』かもがわ出版、二〇〇五年）

試験時間中に机の上に置いてよいもの

- 本学受験票
- 大学入試センター試験受験票
- 配付した問題冊子等
- 黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）
- 鉛筆キャップ
- シャープペンシル
- 消しゴム
- 鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）
- 定規
- コンパス
- 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）
- 眼鏡
- ハンカチ
- 目薬
- ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）